

## 平安の七夕を再現「乞巧奠」飾り

7月1日から7月15日まで、大宮八幡宮（大宮2丁目3番1号）では、平安時代の七夕飾り「乞巧奠」飾りが再現され、多くの来場者でにぎわっています。この催しは、今回が19回目。失われつつあるこうした伝統行事を絶やさずに、大切にしていきたいと毎年行われています。

大宮八幡宮は、千年の歴史を持つ区内を代表する神社の一つです。この大宮八幡宮では、平安時代から引き継がれてきた季節毎の宮中行事を多くの人に知ってもらおうと取り組んでいます。その一つが「乞巧奠（きっこうでん）」飾りで、7月1日から7月15日まで一般公開されています。

「乞巧奠」は我が国の「棚機つ女（たなばたつめ）」の信仰や中国の織姫（おりひめ）・牽牛（ひこぼし）の星祭りが重なり、宮中を中心に技芸の上達を祈る七夕行事として行われていたもので、短冊のルーツといわれる梶の葉や五色の紙垂（しで）を四方にめぐらせ、詩歌・管弦・裁縫などの上達を祈り、筆硯（ふですずり）・雅楽器（ががくき）・糸などをお供えして飾られています。実際に、境内に植えられている梶の葉に、「合格祈願」や「技芸上達」などと墨で書いて吊るされています。併せて、神門前には梶の葉や五色の布を垂らして平成の七夕・大宮八幡「乞巧潜り（きっこうくぐり）」が設けられ、これを潜ることにより技芸の上達の願いが叶うとされています。



この乞巧奠は、7月15日（土曜日）まで開催されています。また、期間中の8日（土曜日）午後5時から、「雅楽の夕べ」として、この乞巧奠飾りの前で雅楽の演奏が予定されていて、平安時代の宮中行事の雰囲気により再現されます。ぜひ、足を運んで、優雅な時間をお楽しみください。

### 第19回 平安の七夕 乞巧奠（きっこうでん）飾り

【日時】7月1日（土曜）～7月15日（土曜）午前9時～午後6時

【場所】大宮八幡宮 清涼殿ロビー（大宮2丁目3番1号）

【交通】電車：井の頭線「西永福駅」より徒歩7分または「永福町駅」より徒歩10分

【問い合わせ先】大宮八幡宮 : 電話03-3311-0105